

日本語は「縦に書き」

先月十五日に教育委員会主催による「書き初め体験教室」が農環センターで行われました。村内の小学生一年生から四年生まで十九人が参加しました。講師として会から事務局二人がお手伝いをしてきました。

墨を使った毛筆は三年生からですので低学年の子ども達には大変です。太筆の毛の弾力を調整しながら二時間書き続ける事は、体力を消耗します。一年生の疲れ切った顔がかわいかったです。

ところで最近、縦に文字を書くことが少なくなっています。



きました。というより学校での国語の板書を写すぐらいしか体験してないのではないでしょうか。コロナ禍で導入が急がれた「タブレット」の授業ではいよいよ皆無と言っていいでしょう。

戦後欧米の文化が普及し、横書きが主流になってきました。筆記用具も筆から鉛筆、シャーペンになりました。それと同時に鉛筆の持ち方もおかしくなり、文字も「マンガ字」になり下手

下の句カルタが北海道遺産に



次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。令和四年十月十三日に第四回の選定が行われ七十四番目に「下の句カルタ」が登録されました。

皆さんご存じのように、木札に書かれた百人一首の下の句を、内地では上の句を呼んで下の句をとるのですが北海道では下の句をとるといふ独特のカルタです。筆者は猿払に赴任してか

になりました。たまには「縦がき」で手紙でも書きましよう。



ら二十数年、子ども会で百人一首を教えてきました。子ども会の活動は季節の行事や奉仕活動など様々ですが、その中の一つにカルタがあります。

先日コロナ禍でできなかった大会が三年ぶりに開かれました。猿払村からは浅茅野の中学生のチームが出場し、準優勝しました。練習時間が少なかったのにがんばりました。宗谷管内の出場枠が一つ増え、みごと全道大会出場です。